令和 5 年 月 日

(名称) 鹿角市地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

鹿角市は北東北三県の中心に位置し、東西の長さ 20.1km に対し南北は 52.3km となり、市内中央部を流れる米代川を中心として広範囲に点在する小さい集落がそれぞれ十和田・花輪・尾去沢・八幡平の 4 地域に分かれて生活圏を形成しています。その中で特に鹿角市中心部に位置する花輪地域に主要な公共施設、病院、商業施設等が集積しているため、他地域から花輪地域への移動が必要となっており、交通弱者にとっては公共交通が生活を営む上での重要な役割を担っています。

本市の公共交通は、鉄道・バス・タクシーにより構成されています。地域間交通ネットワークとしては、岩手県盛岡市と大館市を結ぶ JR 花輪線を主要な幹線系統とし、JR 花輪線の鹿角花輪駅から小坂町間を運行する路線バス「小坂線」と、同じく鹿角花輪駅から大館市間を運行する路線バス「花輪大館線」の 2 路線が地域間幹線系統として運行されています。

前段に記載した状況から、鹿角花輪駅を起点として多くのバス路線が運行されており、市内公共交通の重要な結節点となっています。

乗合バスにおいては自家用車の普及や過疎化による人口減少に伴う利用者の減少から運行路線のすべてが赤字路線であり、その維持のため本市では年間 6~7 千万円程度の財政支出を行っています。

これまで路線の改廃が進められる中、財政支出は増加の一途をたどっており、地域の公共交通を取り巻く環境は極めて厳しい状況となっていますが、自ら移動手段を持たず公共交通が主な交通手段となっている市民にとって必要不可欠なものであり、今後さらに進展する高齢化社会においてその需要が高まることが予測され、公共交通の維持確保は重要な課題であります。

今回、地域公共交通確保維持改善事業の対象とした 13 路線（以下「対象路線」という。）は、主に本市の郊外地域から主要な公共施設や病院、商業施設などが集まる中心地域までの移動に利用されています。

また、花輪市街地循環線は、他の対象路線などからの乗り換えも多く、花輪地域内の移動手段として重要な役割を果たしています。

これらの路線は、特に自家用車を持たない住民の移動手段として、その維持確保が必要とされています。

対象路線に関しては、JR 花輪線や地域間幹線系統への乗り換えに配慮して、通学、通院時間帯に合わせた対象路線と地域間幹線系統を乗り換えなしで運行する便の設定や、スムーズな乗り換えが可能となる運行ダイヤの調整を行っています。今後もより一層の利便性の向上を目指し利用者の要望を取り入れながら改善を行い、あわせて利用環境整備及び普及活動を実施し、より利用しやすい公共交通の確保を目指します。

地域公共交通確保維持改善事業の活用により、主要フィーダー系統を維持確保し、地域間交流による市全域の活性化を図り、持続可能な公共交通システムを構築することを目指します。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

令和4年度利用者数を基準として対前年比98%の利用者数維持を目指します。

定量的目標：バス利用者数を人口減少率程度に維持する

路線名	基準年度 (令和4年度)	1年目 (令和6年度)	2年目 (令和7年度)	3年目 (令和8年度)	4年目 (令和9年度)
①八幡平大環状(1)	14,787人	14,492人	14,203人	13,919人	13,641人
②寺坂・大湯	42,578人	41,727人	40,893人	40,076人	39,275人
③志張(1)	17,241人	16,897人	16,560人	16,229人	15,905人
④尾去沢(1)	19,414人	19,026人	18,646人	18,274人	17,909人
⑤花輪市街地循環	10,811人	10,595人	10,384人	10,177人	9,974人
⑥中滝(1)	1,995人	1,956人	1,917人	1,879人	1,842人
⑦中滝(2)					
⑧大湯花輪(1)	2,923人	2,865人	2,808人	2,752人	2,697人
⑨大湯花輪(2)					
⑩根市大湯(1)	4,897人	4,800人	4,704人	4,610人	4,518人
⑪根市大湯(2)					
⑫根市大湯(3)					
⑬東山環状	3,463人	3,394人	3,327人	3,261人	3,196人
計	118,109人	115,752人	113,442人	111,177人	108,957人

(2) 事業の効果

地域内フィーダー系統を確保することで以下の効果が期待できます。

○①～⑬路線全体の効果

- ・主要公共施設や病院、商業施設等のある地域以外に暮らす住民の通学、通院、買い物等、日常生活に必要不可欠な移動手段が確保されます。
- ・地域間幹線系統及び他の系統との連携により効率的な運行体系が確保されます。
- ・高齢者の引きこもり防止や外出機会の増大、地域間交流の促進による地域活性化につながります。
- ・利便性の良い路線の確保により各地域の人口流出を防ぎ、自治会、コミュニティが維持されます。

○①八幡平大環状(1)

- ・八幡平地域には高等学校や病院、大規模な商業施設がなく、対象路線は沿線地域住民にとって重要な生活路線です。乗り換えなしで地域間幹線系統に接続し、かつの厚生病院や小坂町の高等学校まで運行される便も設定されており、対象路線を維持することで日常生活に必要不可欠な移動手段が確保されます。
- ・八幡平地域の県道を運行する唯一の路線であり、八幡平地域の自治会相互交流及び八幡平地域、尾去沢地域、花輪地域の地域間交流の手段が確保されます。
- ・JR花輪線とは鹿角花輪駅と八幡平駅で結節しており、沿線地域から大館市、岩手県方面への移動手段が確保されます。

○②寺坂・大湯

- ・対象路線は十和田大湯地域の県道を運行する唯一の路線であり、沿線地域とかつの厚生病院やJR鹿角花輪駅までの間を結ぶ重要な生活路線です。地域内には高等学校がないため、花輪地域の高等学校への通学や通院、買い物、岩手県方面への移動のための交通手段が確保されます。
- ・対象路線沿線には世界文化遺産登録となった「大湯環状列石」があり、さらに来訪者

が見込まれること、また、十和田大湯地域は温泉地であるため、地域間交流及び地域の活性化が図られます。

○③志張(1)

- ・沿線地域の八幡平大環状(1)線以南は鹿角市の中心部から非常に離れており、学校及び医療機関が無く商業施設も少ないことから、対象路線は沿線地域住民にとって重要な生活路線として利用されています。対象路線を維持することで住民生活に必要な交通手段が確保されます。
- ・JR花輪線とは鹿角花輪駅と八幡平駅で結節しており、沿線地域から大館市、岩手県方面への移動手段が確保されます。

○④尾去沢(1)

- ・尾去沢地域は高等学校や医療機関が無く商業施設も非常に少ない地域であり、対象路線は沿線地域の住民の通学や通院、買い物等の花輪地域への移動手段として必要不可欠な路線です。乗り換えなしで地域間幹線系統に接続し、かつの厚生病院や小坂町の高等学校まで運行される便も設定されており、対象路線を維持することで日常生活に必要な移動手段が確保されます。

○⑤花輪市街地循環

- ・対象路線は鹿角花輪駅以南から市役所やかつの厚生病院のある地域へ向かう唯一の路線であり、維持により必要な移動手段が確保されます。
- ・花輪地域の主要箇所を循環しており、JR花輪線や他のバス路線との乗換による花輪地域内移動の利便性が向上します。
- ・新たなクリニック開業に合わせ、令和5年4月よりルート変更及びバス停の新規設置により利用者の利便性が図られます。

○⑥中滝(1)、⑦中滝(2)

- ・沿線地域は鹿角市中心部から非常に離れており、対象路線は沿線地域唯一の公共交通です。路線の維持により日常生活における十和田地域中心部や花輪地域への移動手段が確保されます。

○⑧大湯花輪(1)、⑨大湯花輪(2)

- ・大湯地域は日常生活において毛馬内地域や花輪地域への移動が必要な地域であり、特に毛馬内地域との結びつきが強くなっています。対象路線の維持により日常の移動手段の確保や地域間交流の促進が図られます。

○⑩根市大湯(1)、⑪根市大湯(2)、⑫根市大湯(3)

- ・沿線地域は本市の中心部から離れた中山間地域であり、唯一の公共交通である対象路線の維持により、柴平小学校児童及び花輪中学校生徒の通学や住民の日常生活における移動手段が確保されます。

○⑬東山環状

- ・沿線地域は花輪地域中心部のベッドタウンであり、対象路線を維持することで地域住民の利便性が確保されます。
- ・沿線には本市の代表的なスポーツ複合施設「アルパス」があり、市民を中心に各種競技のトレーニングや大会などに幅広く利用されています。本市は「スキーと駅伝のまち」を掲げており、移動手段の確保によりスポーツ振興を図ります。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・路線バス時刻表を市内全戸に配布。(鹿角市)
- ・イベントにおけるバス車両展示等による啓発活動。(鹿角市、秋北バス(株))
- ・高齢者及び運転免許証返納者に対して回数券及び定期券購入費を補助(鹿角市)

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運送予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
運行事業者の運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を鹿角市が負担する。
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法
<ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象とした公共交通の利用に関するアンケート調査 ・利用者数や収支について、数値指標によるモニタリング・評価を実施 ・座談会（住民ヒアリング）の実施 ・利用状況の分析・検証 ・利用ニーズ把握調査の実施
7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
8. 別表1の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
表5を添付。
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
13. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし

14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
18. 協議会の開催状況と主な議論
<p>【令和4年度】</p> <p>○第1回鹿角市地域公共交通活性化協議会：令和4年6月24日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度鹿角市地域公共交通活性化協議会事業について報告した ・令和3年度鹿角市地域公共交通活性化協議会収支決算について承認された ・令和4年度鹿角市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について承認された ・生活交通確保維持改善計画について承認された ・令和4年度版鹿角市路線バス時刻表（案）について承認された <p>○第2回鹿角市地域公共交通活性化協議会：令和4年10月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画策定に係る各種調査結果について報告した ・公共交通の課題の整理について報告した ・鹿角市公共交通計画（骨子案）について報告した <p>○第3回鹿角市地域公共交通活性化協議会：令和4年12月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿角市地域公共交通計画（素案）について報告した ・花輪市街地循環線の経路変更について報告した ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保改善計画）について承認された <p>○第4回鹿角市地域公共交通活性化協議会（書面決議）：令和5年1月23日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿角市地域公共交通計画（素案）について承認された ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通調査事業）について承認された <p>○第5回鹿角市地域公共交通活性化協議会：令和5年3月6日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿角市地域公共交通計画について承認された

<ul style="list-style-type: none"> ・花輪市街地循環線の経路変更について承認された ・生活交通確保維持改善計画の一部変更について承認された
19. 利用者等の意見の反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通活性化協議会委員として利用者代表（かづの PTA 連合会、鹿角市老人クラブ連合会、市民）が参加している。 ・市民を対象とした公共交通の利用に関するアンケート調査を毎年継続して実施している。
20. 乗用タクシーの運賃低廉化措置を行う地域の概要
【乗用タクシーの運賃低廉化措置を行う場合のみ】
(1) 過去に乗合旅客の運送を行っていた乗合バス事業等
※該当なし
(2) 交通手段の検討状況
※該当なし

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田 4 番地 1

(所 属) 鹿角市地域公共交通活性化協議会（鹿角市生活環境課内）

(氏 名) 畠山 堅太郎（鹿角市生活環境課環境推進班）

(電 話) 0186-30-0224（直通）

(e-mail) kankyouseikatsu@city.kazuno.lg.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。（ただし、上記 2.・3. については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります）。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統		系統 キロ程	計画 運行 回数	計画 運行 日数	利便 増進 特別 措置	運送 継続 特別 措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)		R6年度
			起点	経由地 終点						基準 適合 要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹線 系統等と接続の 確保 (別表7のみ)	
秋田県 鹿角市	秋北バス(株)	(1) 八幡平大環状(1)	鹿角 花輪 駅前	夏井・長 内 鹿角 駅前	往25.4km 復25.3km	16730回	239日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③
		(2) 寺坂・大湯	花輪 営業 所	寺坂・厚 生病院 前	往20.8km 復20.8km	16660回	365日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③
		(3) 志張(1)	花輪 営業 所	志張 温泉	往22.1km 復21.8km	8420回	239日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③
		(4) 尾去沢(1)	鹿角 花輪 駅前	上山	往5.4km 復5.1km	16660回	365日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③
		(5) 花輪市街地循環	鹿角 花輪 駅前	かつの 厚生病 院前	(循環) 14.7km	17080回	244日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③
		(6) 中滝(1)	十和 田南 駅前	中滝 大湯 温泉	往 km 復22.3km	1220回	244日			①	補助対象地域間幹線系 絳小坂線と十和田南駅 停留所にて接続	③
		(7) 中滝(2)	中滝	大湯 温泉	往32.0km 復32.0km	3660回	244日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③
		(8) 大湯花輪(1)	四ノ岱	十和 南駅前	往21.5km 復21.5km	5680回	264日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③
		(9) 大湯花輪(2)	四ノ岱	大湯 温泉	往11.1km 復11.1km	3660回	264日			①	補助対象地域間幹線系 絳小坂線と十和田南駅 停留所にて接続	③
		(10) 根市大湯(1)	大湯 温泉	根市	往24.0km 復21.7km	2440回	244日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③
		(11) 根市大湯(2)	鹿角 花輪 駅前	根市 柴平小 学校	往 km 復17.7km	1220回	244日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③
		(12) 根市大湯(3)	大湯 温泉	鹿角 花輪 駅前	往28.9km 復28.8km	2440回	244日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③
		(13) 東山環状	鹿角 花輪 駅前	東山	(循環) 10.9km	13800回	264日			①	補助対象地域間幹線系 絳花輪大館線と鹿角花 輪駅前停留所にて接続	③

(注)

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名前を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特別措置」及び「運送継続特別措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特別措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載すること。
5. 「運行態様の別」については、路線不定期運行、区段運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特別措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運送予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	鹿角市
-------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	29,088
交通不便地域等	29,088

交通不便地域等の内訳

人口	対象地区	根拠法
29,088	全域	過疎法第2条

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び特例適用開始年度

計画名	策定年月日	特例適用開始年度
鹿角市地域公共交通計画	令和5年3月	

(1)記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(以下、「交付要綱」という。)の別表7(ハ②(1))に記載のある過疎地域の人口、交付要綱別表7(ハ②(2)(実施要領の2.(1)⑪))に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計(重複する場合を除く)を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7(ハ②(1))に掲げる法律(根拠法)に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運輸局長等が認めた場合は、「局長指定(乗用)」と記載すること。
6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、特例を適用する場合に記載すること。

(2)添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。(ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可)